

2018年版ちひろカレンダー普及ニュース

発行：原水爆禁止神奈川県協議会 横浜市中区野毛町 2-61 大沢ビル 4A
Tel 045 (231) 6284 Fax 045 (261) 6577 Mail- kana-gensuikyo@gol.com 発行日：2017.11.13 No.2

世界中のこども みんなに 平和としあわせを いわさきちひろ 生誕100年

今年、いわさきちひろ生誕100年です。

いわさきちひろさんの「優しく透明な絵に込められた子どもへの限りない愛」「1枚の絵の命の大切さ、平和への思い」が注目されています。ちひろさんは、子どもの表情を優しいタッチで描いた作品を多く残しました。自身の戦争体験から、平和の尊さや反戦などのメッセージを作品に込め、社会に問い続けました。



いわさきちひろは、子どもを生涯のテーマとして描き続けた画家でした。モデルなしで10ヵ月と1歳のあかちゃんを描き分け、その観察力とデッサン力を駆使して、子どものあらゆる姿を描き出しています。いわさきちひろの作品は、母親として子育てをしながら、子どものスケッチを積み重ねるなかで生まれました。日本の伝統的な水墨画の技法にも通じる、にじみやぼかしを生かした独特な水彩画には、若き日に習熟した藤原行成流の書の影響も見られます。

青春時代に戦争を体験したいわさきちひろは、「世界中のこども みんなに 平和としあわせを」ということばを残しています。いわさきちひろが描いた子どもや花は、今もいのちの輝き、平和の大切さを語り続けています。

いわさきちひろ 1918～1974

福井県武生市（現・越前市）に生まれ、東京で育つ。東京府立第六高等女学校卒。藤原行成流の書を学び、絵は岡田三郎助、中谷泰、丸木俊に師事。1946年日本共産党に入党。1950年松本善明と結婚。同年、紙芝居「お母さんの話」を出版、文部大臣賞受賞。1951年長男・猛を出産。翌年、下石神井（東京・練馬）に自宅兼アトリエを建てる。1956年小学館児童文化賞、1961年産経児童出版文化賞、1973年『ことりのくるひ』（至光社）でポロニャ国際児童図書展グラフィック等を受賞。1974年肝ガンのため死去。享年55歳。現存する作品は約9500点。その他の代表作に『おふろでちゃぷちゃぷ』（童心社）、『あめのひのおるすばん』（至光社）、『戦火のなかの子どもたち』（岩崎書店）などがある。（いわさきちひろ生誕100年特設サイトより）

みなさんの奮闘で、ちひろカレンダー普及、ここまで来ました！

現在普及、3,323本

ピッチを上げて普及し、必ず5000本突破するようしくお願いします。

いわさきちひろ生誕100年の今年、もっとたくさんの人にちひろカレンダーを広げましょう。その草の根の広がりには「核兵器禁止条約に日本も参加を」の確かな力となります。まだまだ“ちひろカレンダー”を知らない人がいます。あなたの一声を待っています。そして、あなたもちひろカレンダーをどうぞ。

福島原発事故被災者・仮設住宅への「ちひろカレンダー募金」もお願いします。